❹ 受粉～実の収穫、種の取り方

収穫して食べて、上手に種を採取しましょう

人工授粉

花が咲いたら確実に実をつけさせるために、人工授粉をしましょう。雄花を摘み取って、黄色い花粉を雌花のめしべにつけるか、綿棒などで雄花の花粉をめしべにつけましょう。

ポイント!

雌花には花の下に小さなゴーヤがついているので、簡単に見分けることができます。また、先に雄花が咲き始め、後から雌花が咲きます。

収穫

花が咲いてから2～3週間で収穫できるようになります。表面のイボイボが膨らんでハリがあるうちが食べごろ。8月の暑い時期を乗り越えれば9月上旬ごろまで収穫が楽しめます。

ポイント!

黄色の葉ができている場合は、日照不足か肥料不足、連作障害が考えられます。マグネシウムを含む「苦土石灰」を大さじ山盛り1杯与える、水のやりすぎに注意するなど工夫してみましょう。

種の取り方

1. 種とり用のゴーヤは、収穫せずそのまま残しておきましょう。ゴーヤの実は成熟すると赤みのあるオレンジ色になり、完熟します。
2. 自然と実が割れて、中からゼリー状の赤い膜が付いた種が出てきたら、実をハサミなどで切って収穫します。
3. 水洗いなどし、ゼリー状の赤い膜をとると中から茶色い種が出てきます。天日で十分に乾燥させたら、紙袋に入れて密封し、冷暗所で保管してください。

育てて、応募！　なゴーヤ隊　隊員募集中

つる性の植物などで緑のカーテンを作り、種を収穫し、次の参加者のために種を寄附する「なゴーヤ隊」を募集しています。また、育てた緑のカーテンの写真や種、報告書を送っていただくと参加記念品をプレゼントします！皆さまの参加をお待ちしております。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

発行・問い合わせ　名古屋市環境局 環境企画部 低炭素都市推進課
〒460-8508　名古屋市中区三の丸3-1-1　TEL：052-972-2692　FAX：052-972-4134
メール：a2692@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

このリーフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

Climing Plants for Green Curtain!

ゴーヤ栽培のコツ
失敗しないためのポイントまとめ

はじめよう！緑のカーテン

緑のカーテンとは、ゴーヤやアサガオなどつる性植物を育てて作る自然のカーテンのこと。
ちょっとしたコツをつかめば簡単に育てることができます。
快適な夏を過ごせて、地球温暖化対策につながるこの取り組みにあなたも参加してみませんか。

ゴーヤもおいしくいただきました

どこまで伸びるかな？

立派に育ったよ！

壁一面にカーテン！

涼しくなって
わんこもおおよろこび

うまくできた！

なゴーヤ三兄弟

緑のカーテンは地球にも人にもやさしい

- **日差しが室内に入るのを遮るため、エアコンの使用量が減り、省エネ効果があります！**
- **見た目にも涼しさを与えてくれます!**
- **建物や地面の表面温度の上昇を抑えます!**
- **収穫して食べる楽しみがあります!**
- **葉が CO_2 を吸収することで地球温暖化対策につながります!**

写真／2016年・2017年度「なゴーヤ隊」隊員の緑のカーテン

1 準備する
用意とスケジュール

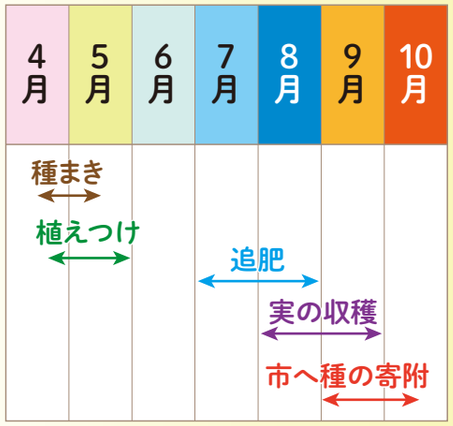
用意するもの

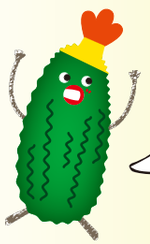
できるだけ大きなプランターを選びましょう

- 種または苗
- プランター（縦70×横40×深さ25cm程度）
- 鉢底石
- 土（市販の培養土）
- 化成肥料
- ネット・支柱
- 結束バンド
  ※ネットと支柱を固定する際に利用
- じょうろやスコップなどの園芸用品

※プランター栽培の場合

栽培スケジュール

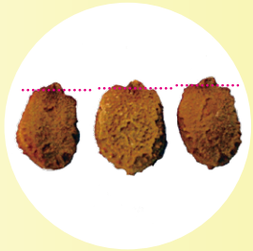




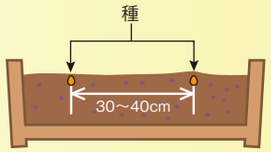
なゴーヤ隊の方へは
10月ごろまでに市への種の寄附をお願いしています。ゴーヤの他に、十六ささげやアサガオ、フウセンカズラなども受け付けているよ！

2 種まき・植え付け
4月～5月上旬に行いましょう

種を発芽させる



1. ゴーヤの種のとがった部分を爪切りやペンチなどでカットし、一晩水につけておきます。水に浮くものは発芽しにくいので、取り除きましょう。
2. プランターに2か所植穴をつくり、1か所につき2～3粒を30cm程度離して植え、1cmほど土をかぶせて水をかけます。
3. 1週間ほどで発芽しますが、水は土の表面が乾いてから、たっぷりと水を与えましょう。



ポイント!

気温が25度以上でゴーヤの種は発芽しやすくなります。春でも外気が冷たいうちは、室内で小さめのポットに種を植え、発芽してから屋外プランターに植え替え、日のあたる場所に置きましょう。

間引き

本葉が2～3枚になったら、元気な苗を残して間引きしましょう。間引きする苗は、根元からはさみで切ると残した苗の根を傷つけません。

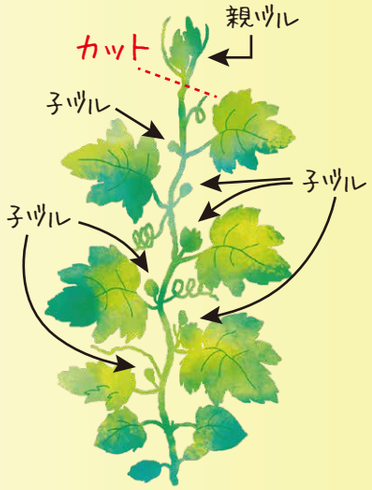
ネットの取り付け

1. ネットの上下に支柱を取り付け、ロープなどを使って2階のベランダの手すりや1階窓の軒先などに固定します。
2. 風で吹き飛ばされないように下の支柱はレンガなどの重しを置きましょう。

3 育成・追肥
緑のカーテンにするためのポイントは3つ

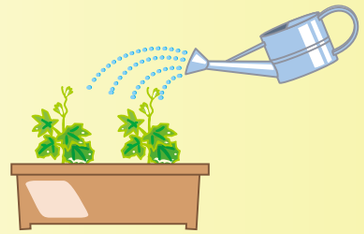
摘芯と誘引

1. 本葉が5～7枚になったら、親ヅル（最初に伸びたツル）の先端を2～3cm切ります（摘芯）。子ヅルの成長を促します。
2. 上に伸びようとするツルを手で横に広げるように誘引し、ネットに固定します。
3. 子ヅルや孫ヅルもある程度伸びたら❶と同様に摘芯をし、ツルを広げましょう。



水やり

1. 梅雨明けまでは、朝の涼しいうちに土の表面が乾いたら、たっぷりと与えましょう。
2. 梅雨が明け、だんだん暑くなってきたら、必要に応じて朝と夕方に2回あげてください。



ポイント!

昼間の暑い時間帯に水を与えると、水が熱くなり根腐れを起こしてしまうので、涼しくなってから水をあげましょう。

追肥

1. 最初の花が付きはじめたら追肥をします。
2. 1回目の追肥の後は、2週間に1回くらいの頻度で化成肥料をひとつかみ根元から離してまきます。
3. この時期になると、土が硬くなってきます。硬くなっていたら軽くほぐしてふんわりさせましょう。

次は収穫、種の取り方！